



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月13日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL http://www.sfoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	242,694	△7.0	9,476	30.6	9,698	28.4	8,481	104.9
2020年2月期第3四半期	260,937	3.9	7,257	△13.0	7,552	△13.6	4,140	△26.3

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 8,465百万円(298.2%) 2020年2月期第3四半期 2,125百万円(△31.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	267.97	—
2020年2月期第3四半期	130.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	170,992	92,773	50.5
2020年2月期	171,071	86,348	46.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 86,299百万円 2020年2月期 80,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年2月期	—	32.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△6.2	11,800	10.2	12,000	8.2	9,200	41.3	290.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	32,267,721株	2020年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	658,625株	2020年2月期	597,994株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	31,650,393株	2020年2月期3Q	31,668,738株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、コロナ禍における混乱が長期化し混沌とした状況に終始しました。少しずつ需要が回復しつつある業種がある一方、未だに不振にあえぐ業種もあります。Go Toキャンペーンの実施などにより、一旦は上向きかけた消費も感染の再拡大によりストップがかかりつつあります。食肉業界におきましては、小売業や外食業、観光業など業種の違いによる環境変化や対応の違いに苦慮しております。

このような状況のもと、当社グループは、「魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」、「企業の成長発展とともに、生活・文化の向上を図る」という社是にもとづき、食品の供給というライフラインの一端を担う事業者として、食肉商品の安定的供給と事業継続に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、安定的に事業を継続するとともに、お客様へ商品を確実にお届けすることを主眼に諸施策を行いました。巣ごもりやニューノーマルといった生活様式の新たな流れが生まれており、コロナ感染症拡大による特需が発生しました。営業、製造それぞれの現場において、事業のあり方を模索し、臨機応変な対応による営業活動に努めました。また、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直しなどを行い、食品の流通に支障をきたさないように業務を遂行いたしました。

食肉等の小売事業においては、対策本部を設置の上、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方々の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことが出来るよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、4月に入ってからの緊急事態宣言発出以降、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりましたが、5月後半の同宣言解除以降、営業時間の制限など制約はあるものの、全店での営業を再開しております。今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきは「お客様と従業員の安全」という前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底など店舗における感染予防策を講じた上で営業を継続していく方針です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,426億9千4百万円（前年同四半期比7.0%減）、営業利益94億7千6百万円（前年同四半期比30.6%増）、経常利益96億9千8百万円（前年同四半期比28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益84億8千1百万円（前年同四半期比104.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,203億7千3百万円（前年同四半期比7.5%減）、セグメント利益は91億7千6百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は176億2千1百万円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は13億5千2百万円（前年同四半期比115.2%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は36億6千2百万円（前年同四半期比38.6%減）、セグメント損失は2億8千6百万円（前第3四半期連結累計期間2億4千8百万円の利益）となりました。

④その他

売上高は10億3千7百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント損失は5千9百万円（前第3四半期連結累計期間1億1千3百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて7千9百万円減少し、1,709億9千2百万円となりました。これは主に、たな卸資産が増加した一方で、売上高減少に伴う売上債権の減少、土地等の売却による有形固定資産の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて65億3百万円減少し、782億1千9百万円となりました。これは主に、売上高減少に伴う仕入債務が減少したこと及び借入金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて64億2千4百万円増加し、927億7千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績推移等を踏まえ、2020年4月14日に公表した2021年2月期通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年1月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,644	31,716
受取手形及び売掛金	37,314	34,117
商品及び製品	21,723	23,966
仕掛品	1,215	1,595
原材料及び貯蔵品	2,778	5,010
その他	3,692	3,249
貸倒引当金	△140	△87
流動資産合計	97,228	99,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,764	55,241
減価償却累計額	△24,401	△25,332
建物及び構築物（純額）	28,363	29,908
土地	17,363	15,257
その他	35,756	34,348
減価償却累計額	△22,352	△23,225
その他（純額）	13,403	11,122
減損損失累計額	△2,099	△1,993
有形固定資産合計	57,030	54,294
無形固定資産		
のれん	168	339
その他	557	541
無形固定資産合計	726	881
投資その他の資産		
投資有価証券	12,622	12,495
退職給付に係る資産	117	116
その他	3,621	3,849
貸倒引当金	△276	△214
投資その他の資産合計	16,085	16,247
固定資産合計	73,842	71,423
資産合計	171,071	170,992

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,569	25,819
短期借入金	8,952	8,333
未払法人税等	1,823	2,834
賞与引当金	1,000	1,814
その他	12,231	11,179
流動負債合計	52,577	49,982
固定負債		
社債	1,120	550
長期借入金	26,730	22,939
役員退職慰労引当金	198	213
退職給付に係る負債	1,989	1,998
その他	2,107	2,535
固定負債合計	32,145	28,236
負債合計	84,722	78,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,707	18,722
利益剰余金	54,801	61,321
自己株式	△418	△413
株主資本合計	77,389	83,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,414	2,346
繰延ヘッジ損益	△11	△10
為替換算調整勘定	299	55
退職給付に係る調整累計額	△29	△22
その他の包括利益累計額合計	2,673	2,370
非支配株主持分	6,286	6,474
純資産合計	86,348	92,773
負債純資産合計	171,071	170,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	260,937	242,694
売上原価	225,283	204,689
売上総利益	35,653	38,005
販売費及び一般管理費	28,396	28,529
営業利益	7,257	9,476
営業外収益		
受取利息	36	40
受取配当金	326	249
受取家賃	110	100
持分法による投資利益	9	19
その他	290	401
営業外収益合計	773	810
営業外費用		
支払利息	210	198
アレンジメントフィー	—	106
為替差損	160	81
賃貸原価	42	34
その他	63	168
営業外費用合計	477	589
経常利益	7,552	9,698
特別利益		
固定資産売却益	3	4,069
投資有価証券売却益	13	31
補助金収入	—	548
負ののれん発生益	30	—
受取保険金	88	—
受取補償金	34	3
特別利益合計	169	4,652
特別損失		
固定資産処分損	199	191
減損損失	473	45
店舗閉鎖損失	4	42
店舗休止等損失	—	216
災害による損失	33	—
固定資産圧縮損	—	443
投資有価証券評価損	—	61
その他	0	—
特別損失合計	711	1,001
税金等調整前四半期純利益	7,011	13,349
法人税等	2,615	4,606
四半期純利益	4,395	8,743
非支配株主に帰属する四半期純利益	255	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,140	8,481

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	4,395	8,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,157	△42
繰延ヘッジ損益	20	0
為替換算調整勘定	△116	△239
退職給付に係る調整額	△5	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△4
その他の包括利益合計	△2,269	△277
四半期包括利益	2,125	8,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,868	8,178
非支配株主に係る四半期包括利益	257	287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響については、収束時期等不確実性が大きく将来の事業計画等の見込み数値に反映させることが難しい要素がありますが、少なくとも2021年2月期に渡り続くと仮定し、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	238,278	15,673	5,961	259,913	1,024	260,937	—	260,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,925	43	285	6,253	143	6,397	△6,397	—
計	244,203	15,716	6,247	266,167	1,168	267,335	△6,397	260,937
セグメント利益	7,302	628	248	8,180	113	8,293	△1,036	7,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益の調整額△1,036百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,009百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計			
減損損失	461	8	3	473	—	—	473

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	220,373	17,621	3,662	241,657	1,037	242,694	—	242,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,758	55	246	6,060	339	6,400	△6,400	—
計	226,131	17,677	3,909	247,718	1,377	249,095	△6,400	242,694
セグメント利益 又は損失(△)	9,176	1,352	△286	10,242	△59	10,182	△706	9,476

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △706百万円には、セグメント間取引消去260百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△966百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。